



バトンを渡す、バトンを受け取る

校長 矢崎 真理

厳寒期を過ぎて、三寒四温の季節になりました。まだまだ寒い日もありますが、確実に春の足音が感じられます。三溪園の梅は満開です。早咲きの桜（河津桜など）の開花の便りも三ツ池公園や県内の名所から聞こえてきています。岸谷小でもスイセンが咲きました。着実に希望の春に向かっていくことを感じます。

2月は4週間が、あっという間に過ぎていきました。9日（木）には6年生の東京見学、3年生の森永工場見学と、久しぶりの社会科見学が行われて校外に出るの活動をしっかりと行い、学ぶ気持ちを高めることができていました。私は6年生の東京見学に同行しましたが、国会の会期中でピリピリとした空気が流れる中、落ち着いた態度で参議院の議場見学ができ、日本科学未来館ではグループ学習で、それぞれが展示を見たり体験したり興味深く取り組むことができていました。小学校生活のまとめの学習の時期に、さまざまな場面において自分たちが6年間で身につけた力を発揮していて、成長の姿が表れていることを感じました。

17日（金）には学校運営協議会が行われ、今年度の学校運営について資料を提示し、委員の皆様からご意見をいただきました。それに先立って授業参観をしていただいたところ、「岸谷小学校の子どもたちが落ち着いて学習に取り組んでいる。」「どの教室も、今、何を学んでいるのかが板書でわかる。」「子どもたちが楽しく学んでいる。」など、校内の様子をほめていただきました。また同日、6年生が体育館で卒業感謝の会を行い、自分たちが取り組みたいことを全力で発表しました。全体でのジャズ演奏、国語の学びから劇「6年間の思い出」、英語スピーチ「20年後の自分」、ショータイムでの「これからのわたし」、「歌」、「ダンス」の発表、群読「生きる」、全員の歌のプレゼントなどのプログラムで、感動的な会ができました。

21日（火）には学援隊感謝の会がTV放送で行われ、感謝状を渡し感謝の言葉を伝えました。隊長の八木下さんからは、「無事故の1年間をうれしく思うし、これからも元気で安全に登下校できるように見守っていくので、皆さんも安全に過ごせるようがんばってください。」とお言葉をいただきました。

22日（水）は、今年度の「ピンクシャツデー」で、「いじめをなくす、いじめをしないことについて」の話と、5年生がトルコ・シリアの大地震に、自分たちができることはないかと考えて人権福祉委員会の子どもたちが代表して「募金活動をしたい。」と校長に相談に来てくれたことを、お昼のTV放送で話しました。「働いて得たお金ではないけれど、みんなの気持ちを伝えるための募金ならば、お小遣いやお年玉など自分のことは少し我慢して、それを寄付してもらうことはいいことだね。よく考えてくれました。」と答えたところ、22日、24日の2日間、募金活動を実践してくれました。全校の子どもたち、保護者の皆様からのご支援ご対応をいただき、なんと12万円以上の尊いお金が集まりました。手続きをして、送り届けます。ありがとうございました。

5年生は、24日の入学説明会でも、コロナ禍で3年間できなかった「新1年生を楽しませる会」を保護者に説明している時間帯に実践して、幼稚園・保育園の子どもたちと交流してくれました。「4月に小学校に来るのが楽しみ！」と小さな子が口々に言っていました。5年生として、立派に成長した6年生からのバトンを受け取る準備ができていくことを感じました。新年度は、自分たちが最高学年として、岸谷小学校をリードしていくという気概が感じられる子が多く育っています。年度末は、こうして、いい伝統が引き継がれていくのだと、校長冥利に尽きることが、たくさん生まれます。

6年生は、いよいよ卒業に向けての残り13日間を、大切に大切に過ごしていきます。その姿から、1年生から5年生までの後輩たちが学んでいき、次へと大きく踏み出すパワーをもらうのです。

岸谷小学校が、全校一人ひとりの大切な学校として存在できるよう、3月のまとめの時期を過ごします。保護者の皆様、地域の皆様、これからもあたたかく見守ってくださるようお願いいたします。

学援隊感謝の会



2月21日(火)に、学援隊感謝の会が行われました。雨の日も風の日も、暑い夏の日も寒い雪の日も、岸谷小の子ども達の安全を見守ってくださった学援隊の皆様へ、感謝の気持ちとして、メッセージカード束を贈りました。一年間、本当にありがとうございました。



ひだまり教室



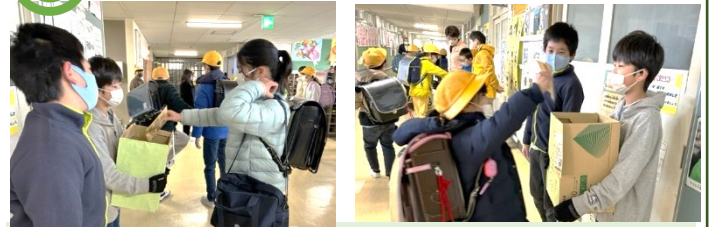
昨年9月に開設した特別支援教室です。学校生活に困難や不安を抱える子どもたちが、可能な限りの時間、在籍学級で友達と共に有意義な学校生活を送れるようになるために、個別に指導・支援を受けながら学習する場です。子どものペースに合わせて、「心の安心」の土台をゆっくり築いていきます。教室とともに子どもにとって安心できる居場所作りを目指しています。

学校保健委員会



今年度の学校保健委員会のテーマは、「きらきら☆岸谷の子～運動の大切さを知り、じょうぶな体をつくろう～」でした。コロナで計画通りに進まないこともありましたが、各クラス・委員会でこの1年間、体力づくりを意識して取り組みました。保護者代表としてPTA保健成人の方にも感想をいただくことができ、学校・家庭で協力して体力について考える有意義な会となりました。

トルコ・シリア大地震への募金活動



大変な被害をもたらしたトルコ・シリア大地震の被災者の方に対して何か自分たちができることはないかと考えて、5年生の人権福祉委員会が中心となり、募金活動を行いました。22日・24日の2日間でしたが、220人以上の子どもたち・職員の協力で、総額でなんと122,829円の募金が集まりました。集まったお金は、トルコ大使館の義援金受付口座に振り込み、被災者支援に役立てていただこうと思います。

各学年の様子



【1年】おみせやさんごっこ

国語「ものの名まえ」の学習で、様々なものの名まえを集めて、学年でおみせやさんを開きました。売る役も買う役もどちらも友達との交流を楽しみながら活動に取り組むことができました。学年間の交流を通して、残り1か月協力して頑張れる大切さを一緒に学んでいくことができたらいいなと思います。



【2年】中島先生の手洗い指導

水が冷たいので、石鹸をつけずに水だけで手を洗っている子どもが増えてきました。そこで、養護教諭と一緒に、手洗いの仕方と大切さについて学びました。アルコールを含ませた脱脂綿で拭くと、脱脂綿が黒くなっている、自分で思っている以上に手が汚れていることに気付きました。ハンカチで拭くまで、しっかりできるといいですね。



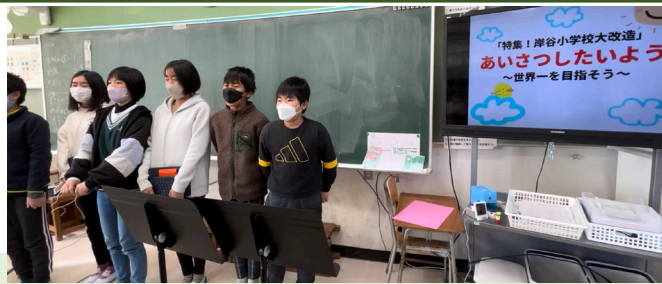
【3年】森永工場見学

鶴見区内にある森永工場に見学に行きました。普段スーパーで見かけるお菓子が、自分たちが暮らす鶴見区で作られていることに驚く子どもたち。目を輝かせながら、森永製品の歴史やお菓子を美味しくたくさん作る工夫、そこで働く人の願いを考え、施設の人の話を真剣に聞く姿が見られました。



【4年】生活調査隊

国語「調べて話そう、生活調査隊」では、普段の生活の中で「みんなはどうしているのかな。」と疑問に思うことについて調査を行っています。これから、アンケートを集計して、クラスの傾向を見ていき、そこから分かったことをまとめて、みんなに発表します。自分の生活を見直し、改善しようと思ってくれるような発表を目指して、学習を進めていきます。



【5年】「総合的な学習の時間」の発表会

2月16日(木)、1組は「特集！岸谷小学校大改造」、2組は「岸谷小学校よりよくし隊」の取組の報告会を行いました。各グループが学校をよりよくするための課題を見つけ出し、アンケートや取材などから分かったことをもとに取り組んでいます。報告会では、これまでの取組をスライドを使って発表しました。授業参観での発表だったのでとても緊張していましたが、しっかりと自分たちの取組をおうちの人に伝えることができました。



【6年】卒業感謝の会

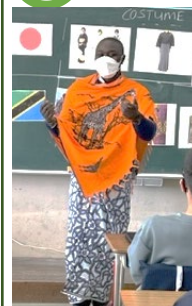
2月17日(金)に、卒業感謝の会が行われました。それぞれが自分の得意なことを生かして、楽しいパフォーマンスを表現し、保護者の皆様に大いに楽しんでいただきました。また、感謝の気持ちをしっかりと伝え、自立していく姿を見ていただくことができました。小学校生活最後のよい思い出ができました。



【5組】「5くみのはたけ」を紹介しました

冬休み明け頃から準備をしてきた学習発表会の動画が完成し、2月14日(火)の懇談会で保護者の方、2月20日(月)の給食の時間に全校児童に見てもらいました。1年間取り組んできた栽培活動の中でも夏野菜について取り上げ、音楽と体育のチームに分かれて畑の様子を表現しました。自分たちの動画が放映され、嬉しそうな様子の児童が多かったです。交流級で褒められたと言っている児童もいました。

IUI 国際理解教室が終わりました



ムニャンガ フェルディナンド フランシス先生の国際理解教室が終わりました。今年、ムニャンガ先生からタンザニアの文化について学びました。マサイ族の衣装やマサイ族の生活や文化について、クイズを交えながら楽しく教えてくださいました。タンザニア語の「ジャンボ！（元気ですか？）」「ンズリサーナ！（元気です！）」の、明るくやさしい挨拶を、いつまでも忘れません。

学校カウンセラー来校日

相談を希望される方は、担当宮佐までご連絡ください。
3月 8日(水) 13日(月) 22日(水)
いずれも8：45～17：00までです。